**地域の担い手発掘・育成・支援に取り組む**

**「ハブ機能」強化助成事業**

**募集要項**

平成26年3月

NPO法人ETIC.

**１．本助成事業の募集にあたって**

東北各地に多大な被害をもたらした東日本大震災から4年の月日が経過しました。当初のスケジュールからは遅れながらもハードの復旧が進みつつある一方で、ソフトや人材への投資こそが東北の未来には必要だという声を耳にする機会が増えました。

現状、各地域では、地域の事業者による事業再開や新規事業への取り組み、新たな起業家による新規事業への取り組み、さらには地域住民が主体となったプロジェクトなど、様々な動きが行われています。また、未来の担い手となる地元の高校生たちの地域内での主体的な取り組み、新たなUIターン層の巻き込み、新規創業者の発掘など、人材への投資に向けた動きも始まっています。

東北の未来に向けて、こうした担い手たちの存在こそが鍵であり、その取り組みを活性化させていくことが求められています。そのためにも、**地域の課題やニーズ、ビジョンを踏まえ、地域の担い手発掘・育成・支援に取り組む「ハブ機能」**が重要になるだろうと感じています。

そうした、地域の「ハブ機能」が強化されることで、ハードの復旧にその多くのリソースが割かれがちな現状において、東北の未来を切り開く担い手への投資が活性化されていくのではないかと考え、このたび、ジャパン・ソサエティ（本部ニューヨーク）のご支援を受け、「ハブ機能」を強化するための助成事業を新たに開始することになりました。

約１年前に今年度の3団体を既に採択させていただき、活動資金の一部を助成させていただくと同時に、私たちETIC.が持つネットワークやリソースなども活用いただいておりますが、今般、来年度も新たに3団体程度を新規で募集させていただくはこびとなりました。

このような問題意識に共感いただける皆様のご応募をお待ちしております。

**２．募集概要**

①申請期間　　　：2015年4月6日（月）17時

②予算使用期限 ：2016年9月末まで

③助成金額 ：1団体最大750万円

　　　　　　　　　※750万円はあくまでも上限の金額であり、申請いただく予算金額は、

1年半で各団体がハブ事業構築に必要な金額規模を申請ください。

④募集件数 ：3件程度

⑤募集対象　　　：地域の担い手の発掘・育成・支援に取り組む団体

⑥申請主体　　　：法人格の有無は問いません。複数の団体が連携したコンソーシアム型（任意団体）でのご応募も可能です。

**３．選考基準**

以下の観点で総合的に判断し、助成先を選定致します。

①地域内での関係性：

地域の主要なステークホルダー（自治体や各種団体）との関係が構築できているか

②活動のモデル性：

他の被災地域にとってモデル的な取り組みになりうるか

③活動の継続性：

　　本助成事業終了後も、地域として「ハブ機能」を継続させていく意志やシナリオを持っているか（現時点で明確なシナリオでなくても目指す方向性があれば構いません）

④本助成事業に対する戦略性：

　　「ハブ機能」の強化に対する具体的な戦略の仮説があるか

　　助成金の活用に対する投資的戦略性があるか

　　ETIC.のネットワークやリソースとの親和性があるか

**４．選考方法**

本助成事業の選考委員会（ETIC.理事およびジャパン・ソサエティのメンバーにより構成）において、助成先の選定を行います。申請から助成先の選定までの流れは下記の通りです。

①申請を希望される場合には、まずETIC.担当コーディネーターにご相談ください。

②その上で、別紙「申請書」を作成いただき、担当コーディネーターにご提出ください。

③ご提出いただいた「申請書」をもとに、担当コーディネーターと申請内容についての打ち合わせを行います。

④最終的な「申請書」の提出は、2015年4月6日（月）までとなります。

⑤提出された「申請書」に基づき、本助成事業の選考委員会において、書類選考を行います（2015年4月中旬）。

⑥書類選考に伴い追加でヒアリングをさせていただくことがございます。

⑦書類選考通過団体につきましては、4月21日（火）にプレゼンテーション選考を東京で行いますので、ご予定を空けておいて下さい。

⑧プレゼンテーション審査通過後に、各地域で本申請事業に関連するステイクホルダーを交えたヒアリングを経て、最終的な契約を締結いたします（契約締結は５月中旬頃を予定）

**５．資金助成について**

（１）資金助成の金額について

2016年9月末までの約1年半の期間に対し、1団体最大750万円で3団体程度への助成を想定しています。ただし、助成が確定する時期や、取り組む活動の内容および助成金の活用計画によっては、助成金額が申請金額を下回る場合もあります。

【重要】助成金の750万円はあくまでも上限の金額であり、申請いただく予算金額は、

1年半で各団体がハブ事業構築に必要な金額規模をベースにご作成ください。

（２）資金使徒の対象範囲

本助成事業は、地域の担い手の発掘・育成・支援に取り組む「ハブ機能」強化を目的としています。その目的に該当する限りにおいて、ハードへの投資や、スタッフ人件費としての活用、地元団体への助成、その他事業費など、資金の使途の範囲は問いません。

（３）助成金の支払いの時期

助成金は、原則3回にわけて支払いを致します。助成先として選定された後に、助成契約書を締結し、その後に１回目の支払いを実施。その後は半年ごとに中間報告書（活動報告および資金の使用状況の報告）を提出いただき、その確認が済み次第、入金をさせていただきます。

**６．ETIC.が提供できること**

東北に「ハブ機能」のモデルを生み出していくために、地域のニーズに応じて、ETIC.が持つネットワークやリソースも活用いただければと考えております。例えば、下記のような連携が可能です（本助成事業期間中は、一部実費が必要なものを除き、原則無償）。

（１）スタッフの募集支援

「ハブ機能」強化の推進に必要な新たなスタッフの採用を希望される際には、ETIC.の人材採用サイト「DRIVE」やネットワークを活用しての募集が可能です。

（２）外部人材のコーディネート支援

地元事業者等の支援において、地域外の人材（外部講師や専門家、大学生インターン、ボランティア等）をコーディネートする際の、外部人材の募集のサポートが可能です。ただし、これら外部人材に対して支払う報酬や謝金、活動経費等は、原則地域側の負担となります。なお、本助成の中で、上記費用を予算に含むことも可能です。

　※ETIC.がリーチ可能な外部人材のネットワーク例

　　－先進的な地域活性化に取り組む全国各地のリーダー・プロデューサー

　　－主に東京のベンチャー企業やNPO経営者

　　－東北復興支援の企業コンソーシアム「みちのく復興事業パートナーズ」参画企業の社員ボランティア（平成26年12月現在：味の素、花王、損害保険ジャパン日本興亜、電通、東芝、ベネッセホールディングス）

　　－東北復興に関心を持つ主に首都圏の大学生（東北出身の在京大学生等）

　　－社会性の高い事業への転職等に興味を持つ20代30代の若手社会人　等

（３）右腕プログラムの活用

上記（２）の一環として、地元事業者等へのETIC.の右腕プログラムの活用が可能な場合もございます。本助成とは別に、右腕への活動支援金の拠出が最長1年まで可能ですが、別途右腕派遣先の選考が必要となります。派遣先の選定基準などに関しましては、別途事務局（[fukkou@etic.or.jp](mailto:fukkou@etic.or.jp)　担当：栗本）までお問い合わせください。

（４）協働事業の推進

これまでETIC.が10数年間実施してきました創業支援プログラムや大学生インターンの制度開発、その他、行政施策を活用しての各種事業など、地域のニーズに応じて、協働での事業の推進も可能です。随時ご相談ください。

（５）その他各種ネットワーキング・研修の機会

ETIC.が主催しています、全国の地域づくりの担い手たちが集うイベントや、コーディネーター研修、その他各種機会への参画が可能です（原則実費各自負担）。

**７．目指す目標**

1年半後（2016年9月末）に以下のような状態になることを共に目指します。

①地域の「ハブ機能」としてのサービス提供の仕組みと実績が生まれている

②持続化に向けて、地域内外での体制作りや資金調達の見通しが立てられている

　（各種制度を活用した地域内での予算化やビジネスモデルの構築など）

③東北の他の被災地域に対して、「ハブ機能」のモデルとして発信できている

**８．申請方法**

申請を希望される場合には、必ず事前にETIC.担当コーディネーターにご相談の上、別紙「申請書」に必要事項を記載いただき、担当コーディネーターまでご提出ください。

以上

|  |
| --- |
| ●本件に関する問い合わせ先  NPO法人ETIC. 震災復興リーダー支援プロジェクト  「ハブ機能」強化助成事業事務局　担当：由利吉隆・山内幸治  〒150-0041 東京都渋谷区神南1-5-7　APPLE OHMIビル4階  Tel 03-5784-2115 / Fax 03-5784-2116 / E-Mail fukkou@etic.or.jp |